

令和4年度 第3回 タウンミーティング（概要）

○開催日時 令和4年8月10日(水)午後3時～4時頃

○開催会場 布袋小学校

○開会あいさつ

皆さんこんにちは。江南市長の澤田和延です。

布袋地域は、新しい駅も出来たこともあるかも知れませんが、随分街並みも変わってきました。地域の皆様方が学校と協力されたり、地域で様々な事業を展開したり、他とは違う様子を見せていただいています。出来れば、このように我々行政も地域の皆様とコミュニケーションを大切にしながら協力していければと思いますので、今日はそうしたお話しもお聞き出来ればと考えています。本日はよろしく申し上げます。

○出席者と市長の意見交換

出席者

学校教育ですが、児童・保護者の多様化による様々な考え方や、学習内容も増えていること、ICT教育や様々な分野の導入など、教職員だけではなかなか担っていけない時代になってきています。布袋小学校は地域の皆様からご支援がいただけることが最も素晴らしい長所かと思えます。本校の今年の重点目標は、あたたかな人間関係を基盤にした全員参加の学校・地域づくり。児童が学びたくなる学校、保護者が通わせたい学校、職員が勤めたい学校。それに加えて地域の方が誇れる学校を目指しています。

地域の皆様において学校の教育活動をご支援いただくことは、地域を良くしていきたいという思いのもとに活動していただけることかと思えます。

PTAの方も、これまで学校でたくさんのご支援をいただきましたが、例えば登下校で通学班の担当、各通学班の保護者の方が学校に来てくださって一緒になって活動をしてくださる、ここまで地域の皆さんや保護者の方が協力して実施できている学校は全国でも珍しいのではないのでしょうか。こういった活動を市内はもちろん、全国に広めていけたら良いなと思えます。

出席者

布袋小学校サポーター（ほてサポ）は平成31年から発足しました。活動は3部門あり、防犯安全部、学習支援部、環境整備部とあります。

募集にあたっては、①児童の登下校の見守り、②学校行事の受付、運動会、学習発表会、卒業式等のお手伝い、③長期休業中の校舎の見回り、飼育小屋の餌やり等、④読み聞かせ、⑤校外学習の引率補助、⑥校舎内外の清掃、草刈り、花壇整備⑦学校農園の整備と指導の活動があり、希望される方にそれぞれ申告していただいています。現在会員は約80名の会員の方に活動していただいています。皆さん前向きに取り組んでいただき、大きなけがや事故など無く進められています。

私自身が朝と昼からと活動している中で、1～6年生の子ども全員が気持ちよく挨拶できるよう指導しており、段々と浸透してきており成長を感じています。

あいさつは基本であり、あいさつが出来ることは良いことだなあと思っています。ボランティアを通じて、子ども達から元気もらっています。

出席者

学校を良くするには地域の力が大切です。地域の特色を生かすことができるよう、行政と一緒に考えることができると良いと思います。廃品回収を廃止している学校も増えています。布袋小学校も廃止し、現在はほてサポ BOX を設置し、回収しています。そのお金でボランティア等に必要な用品などを購入しています。自分たちで用品を持ち、学校から借りる際に先生たちの手を煩わせることのないようにすることも、先生と子どもの対話の時間を増やすことに繋がっているのではないかと思います。大人となら話せるという子どももいるので、そういう子が話せるようなスペースを作るなど、地域とともにある学校になると良いと思います。

出席者

読み聞かせの活動をしています。地域の年配の方が活動に協力的でありがたかったです。そうした方が活躍できる場となっているように感じます。仕事をしながら皆さんほどは活動が出来ていないことが少し心苦しいですが、ゆくゆくは皆さんのように活動したいと思います。

出席者

校外学習に参加させてもらっています。以前取り組んだ PTA 活動をきっかけにこの活動をしています。当時の PTA の先輩が「趣味が PTA 活動」と言っていたことが心に残っています。頻繁に学校に出入りすることによって地域の人や子ども達に顔を知ってもらえ、手を振ってもらったり、あいさつしてもらえることを嬉しく感じています。何か出来ることがあればお手伝いしたいし、活気が出ると思います。また、卒業生が小学校に入る機会があれば良いなと思います。

市長

一定のルールで地域の人が集まれることは良いことだと思います。布袋小学校はそれができていて、良い学校だと思います。安全面や行動面に配慮しながら実施していけたら良いのかも知れません。

出席者

以前、PTA をしたことをきっかけに活動しており、現在は、交通指導員として登下校の見守りをしています。「体調はどうか」「お茶飲みなさいよ」など大勢のボランティアの方が見守り、子ども達に声掛けをされていて子ども達は幸せだと思いました。

出席者

令和 4 年度の PTA 活動をしています。PTA 活動を通して学校側の目線や、地域の目線など、保護者の目線以外も見ることができ発見できることが多く、良い経験をさせてもらっているなと思っています。良い学校だな、と感じています。

市長

私も子どもが幼稚園の頃に PTA をやった事があります。やってみると面白く、保護者同士の交流ができました。子どもの様子や、他の保護者、園長先生や他先生方の考えなどが知れ、自分にとっても非常に良い経験でした。「役が回ってき

たら、喜んで引き受ける」という上司の言葉がなければやっていませんでした。やってみたことで自分もやれることがある、こうしたことで社会貢献ができるのだと感じました。

出席者

子どもが小学6年生で小学校生活最後ということで、子どもと一緒に小学校の思い出が作れたら良いなと思ってPTAの役員を引き受けさせてもらいました。地域の方、先生方との交流もこんなにあるとは思っていませんでした。先般、出席しました給食アレルギー対応の委員会では、養護教諭、栄養士、消防士、救急隊の方がいらっしゃり食物アレルギーによるアナフィラキシーが防げることを教えてもらいました。私たちが気を付けなければならないという、責任感のある言葉をお聞きし、こういうことでも子どもの命を守ってくださる方がいることに感謝しています。良い経験をさせてもらっています。

市長

私がPTAをしていたころから20年以上経っており、今は地域とともに活動する方向に変わってきたように思います。学校の働き方改革が始まり、意識が変わってきました。

学校に対して、こうしたらどうかという意見があれば、お聞きしたいです。

出席者

土曜日にある学校の体験学習を引き受けました。当日、学校側と連絡を取りたかったのですが、なかなか繋がらず苦労しました。活動がある際は、休日でも先生とスムーズに連絡が取れる手段を教えてくださいました。

出席者

地域で特色のある活動を行う場合、行政はそれに合わせて柔軟に対応してほしいです。学校創立150周年の事業はそれぞれの学校でかなり違うようです。また、布袋小は地域独自の取組がとても良いと思います。

市長

布袋小は地域独自のものが多いと感じています。地域で顔の見える付き合いができると良いと思います。まちづくりについて布袋は活発であり、新しい人と古い人の共存がうまくいっているモデルになると思います。

出席者

スポーツ祭は中止になってしまいましたが、地域のお祭りやイベントなどにはどんどん参加した方が良いと子ども達に話しています。駅舎保存会の方が熱く布袋のことを語ってくださるなど、「布袋のまちが大好きだ」と言ってくれる大人の姿勢を見せていることで、「布袋小学校が大好きだ」と言ってくれる布袋っ子も多いと思います。これからも大人達のそういった姿を見せたいと思います。

市長

確かに江南市に観光などで足を運んでいただく機会はあまりないかもしれま

せん。藤まつりは期間が限られていますし、音楽寺のあじさいまつりも規模としては大きいものではなく、フラワーパークは交通の便があまり良くない。花は人を呼ぶ、ということ大切にしようと思っていますが、実施主体もそれぞれ異なるため、なかなか上手く連携がとれていないのが現状です。曼陀羅寺なども年中人を呼べるような場所にしていくことが大事なのかもしれません。

出席者

子どもは大人を見ていて、距離が近くなれば話しをしてくれます。学校に自分達の思い出を残す工夫があれば卒業しても愛着が湧くと思います。その仕掛けは大人たちがしていく必要がありますが、中学校に思い出がないと言う子どももいます。

出席者

もう少し年齢問わず子ども達や保護者も学校に気軽に遊びに来られるようになると良いと思います。

市長

校舎内の壁をなくして廊下で遊べたり、地域の人が学校の中で会議を開けたりする自治体や学校が幾つかありましたが、大阪府の小学校で事件があってから子どもを守るために壁や塀を作り、門を閉じる方向に変わってきてしまいました。地域との交流は、この先も続けていかなければならないと思います。また、働き方改革により、今まで学校の先生方に指導していただいていた部活動を地域の方にお世話になる方向になってきました。

学校、地域、保護者との関係に壁が出来たり開かれたりと、関係が難しい時期に入ってきたように思いますが、ここが行政の力の見せ所かも知れません。

これからも皆様方にご意見をいただけたらと思います。本日のご意見、アイデアなどは今後行政に反映させられるように努力いたします。本日はご参加ありがとうございました。